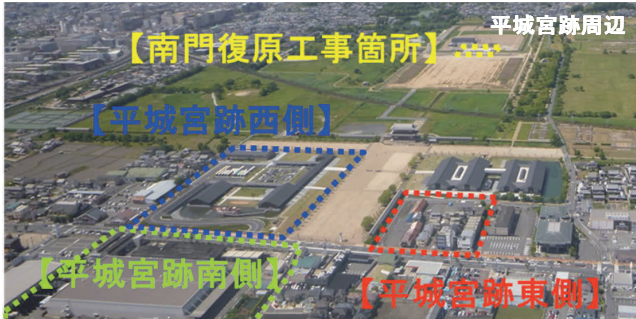


## (21) 大極殿院南門、平城宮跡東側、平城宮跡南側の整備

### これまでは

西側に続いて、東側や南門整備に着手してきました。また、平城宮跡南側においても朱雀門ひろばと一体感のある整備を検討しています。



- 第一次大極殿院南門は平成29年度から国が工事着手し、令和元年5月に立柱式を行い、令和2年5月には、上棟式を行いました。
- 平城宮跡東側は平成30年2月に都市計画法第59条に基づく事業認可を受け、令和2年12月には当地区の**整備計画**を策定しました。
- 平城宮跡南側は**令和2年度に平城宮跡南側整備を新規事業化**しました。令和2年12月には積水化学工業(株)から用地を取得し、当地区の**基本計画**を策定しました。

### もっと良くするために

**南門は令和4年春に完成予定です。**

- 令和4年春南門の完成及び新たに「東楼」の整備検討を国に要望していきます。



**東側は令和7年度の完成を目指しています。(575百万円)**

- 東側は「歴史体験学習館」の整備を行います。

**南側は平城宮跡歴史公園と一体となった公園の整備を行います。(744百万円) [債務負担行為 60百万円]、(R2-2月補正 1,364百万円)**

- 憩いや賑わい機能をもった公園整備を行います。
- 一部を駐車場として暫定整備します。



**令和3年度予算案 1,319百万円 [債務負担行為 60百万円]  
令和2年度2月補正予算案 1,364百万円**

## (22) 中町「道の駅」の整備

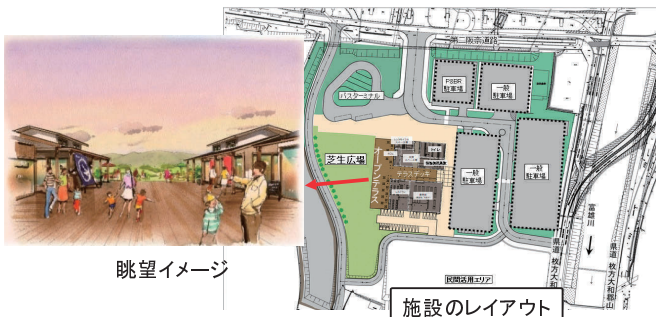
### これまでは

「道の駅」として整備する構想を進めてきました。



中町「道の駅」の主な機能

- ・地域振興機能
- ・公共交通の結節点機能
- ・地域観光のゲートウェイ機能
- ・防災機能



眺望イメージ

施設のレイアウト

子どもが楽しめる芝生広場や、矢田丘陵の美しい山並みが眺望できるオープンテラスなどを配置します。

### もっと良くするために

**令和5年度供用開始の予定で整備を進めます。**

- 令和3年度は作成したレイアウトをもとに**建築物の基本・実施設計等を進めるとともに、造成工事に着手**します。
- 周辺観光施設との連携策を具体化します。



© OpenStreetMap contributors 中町「道の駅」周辺構想

**令和3年度予算案 250百万円 [債務負担行為 650百万円]**

## (23) 自転車の周遊環境整備と安全利用

### これまで

京奈和自転車道と関連自転車道の整備を進めてきました。

平成27年～ 京奈和自転車道の整備(令和2年度概成)



▲奈良市内



▲大和郡山市内



「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を公布(令和元年10月15日)し、交通安全教育の実施、自転車所有者等の保険加入義務化、高齢者のヘルメット着用努力義務化を図りました。

- 街頭活動やポスター等での周知、保険会社との事業連携協定等により条例の普及啓発に取り組みました。
- 県が保有するすべての公用自転車(120台)の自転車損害賠償責任保険に加入しました。

### もっと良くするために

世界遺産周遊サイクルルート等の構築と環境整備を図ります。

- 自転車利用ネットワークの構築(174百万円)[債務負担行為50百万円]、(R2-2月補正 5百万円)

・世界遺産周遊サイクルルート等の整備

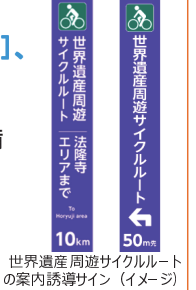
- 自転車利用環境の整備(38百万円)

・活用促進のための調査等を実施

- 自転車条例の周知・普及を図り、自転車の安全で適正な利用促進等を推進(1百万円)

・自転車条例の普及と定着に向けて継続した広報啓発、交通安全教育の実施を図ります。

・自転車利用者が多い地域における自転車の安全対策について市町村等へ働きかけます。



世界遺産周遊サイクルルートの案内誘導サイン(イメージ)

令和3年度予算案 213百万円 [債務負担行為 50百万円]  
令和2年度2月補正予算案 5百万円

## 5 魅力向上・発信

### (24) 県内イベントの充実

### これまで

新型コロナウイルスの影響により、県内のイベントは中止・縮小の対応をとってきました。

#### 【中止になった主なイベント】

- ムジークフェストなら
- 平城京天平祭 春
- 馬見チューリップフェア
- 馬見花菖蒲まつり



ムジークフェストなら

#### 【開催された主なイベント】

- なら燈花会
  - ・無観客で行いネットで映像配信
  - ・「#おうちで燈花会」企画を開催
- 馬見フラワーフェスタ
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで開催
- 天平祭 夏・秋
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたうえで開催



なら燈花会



馬見フラワーフェスタ



天平祭 秋

### もっと良くするために

安心してゆっくり楽しんで頂けるように、3密を避けるなど、「WITHコロナ」でイベントを展開し、奈良を元気にしていきます。

- ・四季を通じて多くの人々に訪れて頂けるよう、奈良の奥深い魅力をブランディング
- ・新たなコンテンツで多くの人が臨場感を持って奈良の魅力を楽しめるイベントの導入

#### 【奈良の魅力を楽しんで頂けるイベント】

- 平城宮跡にぎわいイベント(150百万円)

・天平祭春・夏・秋

- 冬季露宿イベント(60百万円)

・大立山まつり

- 奈良公園にぎわいイベント(29百万円)

・なら燈花会 ・若草山焼き  
・しあわせ回廊なら瑠璃絵  
・ぐれーとさまあふえすた 等

- 奈良公園/スターミナルイベント(25百万円)

・奈良県高校野球パブリックビューイング  
・鹿の角きり関連イベント  
・天平大菊人形展 等

- 文化・芸術イベント(149百万円)

・ムジークフェストなら  
・大芸術祭・障害者大芸術祭

- やまと花ごよみイベント(33百万円)[債務負担行為 9百万円]

・馬見チューリップフェア ・馬見花菖蒲まつり  
・馬見ひまわりウィーク ・馬見フラワーフェスタ ・馬見クリスマスウィーク



天平祭



大立山まつり



しあわせ回廊なら瑠璃絵



鹿の角きり関連イベント



ムジークフェストなら



馬見チューリップフェア

令和3年度予算案 446百万円 [債務負担行為 9百万円]

## (25) 食の振興

### これまで

「奈良にうまいものあり」の評判を定着させる努力をしてきました。徐々に奈良にうまいものありの評判をとるようになってきました。

#### ○県内レストラン等との連携による情報発信

・眺望のいいレストランや奈良のうまいもの会等との連携により、食の魅力を発信

※ ミシュランガイドブック奈良2017特別版掲載店舗数  
 三つ星★★★：1軒(1) ビブグルマン：26軒(15)  
 二つ星★★：4軒(3) 星なし(調査員オススメ)：97軒(0)  
 一つ星★：17軒(12) \*()内は前年の数

#### ○ONAFICの開校

・フードクリエイティブ学科開設以来、33名が卒業  
 <主な就職先>  
 カンテサンス、ロオジェ等、有名レストラン・ホテル  
 県内でカフェやオーベルジュ等開業

○奈良県農畜水産物ブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」に(梨:二十世紀)を追加しました。(令和2年6月)



○食と農の振興を行う県庁組織を設置しました。「豊かな食と農の振興課」(令和2年4月)

### もっと良くするために

食の振興をさらに高度化していきます。

○ NAFICとBCC\*(バスクカリナリーセンター)との連携推進で食文化の振興を行います。(7百万円)



※BCC・・・スペイン・バスク地方にある世界的な4年制の料理専門大学校

○ UNWTOガストロミーツーリズム世界フォーラムの奈良誘致を行います。(55百万円)

○ 柿やイチゴのブランド化など、農産物の高付加価値化を図ります。(2百万円)

県内各地の食の振興を図ります。

○ 奈良県コンベンションセンターでの食イベントや、奈良フードフェスティバルを開催します。(12百万円)

○ 県内オーベルジュ施設のネットワーク化の推進により、滞在型周遊観光の展開を図ります。(4百万円)

○ (新)食と農に関する体験プログラムを開発し、地域の賑わいを創出します。(2百万円)

奈良県産農産加工商品を開発し、販売を促進します。

○ 奈良まほろば館で新商品のプロモーション活動を充実させます。  
 ○ 奈良初のワイナリー設置を支援します。

令和3年度予算案 82百万円

## (26) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開

### これまで

対外的発信力が不足していたとの認識のもと、奈良の情報発信に努力をしてきています。

#### 【海外プロモーション】

○ フランス パリのギメ東洋美術館での奈良の仏像展示・ジャポニスム2018の積極参加(平成30年度)

○ イギリス 大英博物館での仏像展示・観光プロモーションの実施(令和元年度)

#### 【東京プロモーション】

○ 鉄道事業者と連携した奈良県観光キャンペーン事業を展開(平成26年度～)

○ 東京国立博物館で島根県との連携による特別展「出雲と大和」を開催(令和2年1月～2月)



出雲と大和展  
(奈良まほろば館でのPR)

新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏や海外からの観光客は減少しているものの、状況改善後の観光需要喚起を図るため、本県の魅力を継続して発信しています。



首都圏鉄道駅における観光キャンペーン(薬師寺)



旅行誌等を活用した情報発信

### もっと良くするために

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、県内や周辺エリアから段階的に観光誘客を展開しています。また、海外に対しては奈良の魅力を継続的に発信します。

○鉄道事業者等と連携し、奈良の歴史イベント(聖徳太子没後1400年等)を核とした誘客プロモーションの実施

○歴史文化や自然体験等の多様な奈良の観光素材と奈良のおいしい食の魅力を結びつけた奈良らしいガストロミーツーリズムを推進

○「奈良まほろば館」新拠点を活用し、国内外に強い発信力のある首都圏においてプロモーションを展開

○外国人旅行者の「旅行情報源」である現地メディア・エージェン等へのセールス活動、SNSによる「知られざる奈良の魅力」発信



奈良の酒の魅力発信(酒蔵体験)

令和3年度予算案 356百万円

## (27)「奈良まほろば館」新拠点への移転

### これまでは

東京において「奈良まほろば館」と「ときのもり」の2つの拠点で、奈良の魅力を発信してきました。

【「奈良まほろば館」】

- 東京日本橋三越前に開設(平成21年度)
- 奈良県発信拠点として、奈良の奥深い魅力を発信

【「ときのもり」】

- 東京白金台に開設(平成27年度)
- ミシュランガイド東京において1つ星を獲得し、奈良の「食」の魅力を発信



「奈良まほろば館」



「ときのもり」

○各施設では、オープン以来、首都圏の数多くの方々に奈良の魅力を発信しました。

・奈良まほろば館(平成21年4月～R2年8月)

2,633,365人の来場者 ※入館者、イベント参加者の合計

・ときのもり(平成28年1月～令和2年3月)

56,380人の来店者 ※物販・レストラン等の利用者の合計

### もっと良くするために

「奈良まほろば館」、「ときのもり」の機能を統合し、奈良県の魅力発信拠点としての機能をより一層強化するため、「奈良まほろば館」新拠点を整備します。(令和3年7月開業予定)

- 東京都港区新橋一丁目、「奈良まほろば館」新拠点を整備し、ショップでの「奈良もの」の販売、レストランでの「奈良のうまいもの」の提供を充実させ、奈良県の魅力発信と誘客促進を一層強化し、奈良県のブランド力の向上を目指します。

- 大型ビジョンを設置し、奈良の魅力を発信します。



【イメージパース】

【「奈良まほろば館」新拠点の概要】

項目		内容
機能	1階	物販・観光案内 県産農産物、地場産品、伝統工芸、奈良の木製品などのPR・販売、チャレンジ販売の実施等
	2階	レストラン 奈良県産食材を活用したレストラン営業
		多目的室 歴史文化講座、商談会、プレス発表等

令和3年度予算案 850百万円

## (28) 奈良県観光総合戦略の策定と実行

### これまでは

リニア中央新幹線の奈良市附近駅設置を見据え、新たな長期的観光戦略が必要となってきました。

<戦略の視点>

- 上質な観光地にはあらゆる観光魅力が整っていることが必要であり、不足する要素があれば、それらを改善していく必要があります。

- 持続力のある観光地には、リピーターが不可欠ですが、それを一層大切にしていくことが必要です。

- 主流である社寺の参拝のほか、新たな観光魅力を創出し、積極的に観光客を増やす努力が必要です。

### もっと良くするために

奈良県観光総合戦略を策定し実行します。

<観光地づくりに必要な要素>

宿泊施設の質と量  
(Accommodation)

滞在環境の快適性  
(Amenity)

食の魅力  
(Appetite)

便利な交通・道路体系  
(Access)

自然・歴史・文化資源の活用  
(Attraction)

楽しむ  
(Amusement)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、ウィズコロナ時代の新しい視点を計画に盛り込みます。

<ウィズコロナ時代を踏まえた施策例>

- ・新しい生活様式に適合した観光地における安心・安全の確立
- ・観光客サイドにおける十分な感染対策の徹底
- ・県民が県内観光を楽しむ旅の推進

令和3年度予算案 13百万円